

19 災害に強い道路ネットワークの構築

政策提言先 国土交通省・財務省

政策提言の要旨

南海トラフ地震発生時に甚大な被害が想定される本県では、「四国8の字ネットワーク」の整備をはじめ、緊急輸送道路の改築や法面防災、橋梁耐震等の整備を計画的に、かつ優先的に推進、災害に強い道路ネットワークの構築を図っているところです。

一昨年の能登半島地震では、半島という地域特性に加え、沿岸部、山間部を走る幹線道路が被災したことで、孤立集落が多数発生し、救助活動や支援物資の輸送等に大きな支障を来したことなど、発災時の道路啓開の強化と、災害に強い道路ネットワークの重要性が改めて確認されました。

平時からの備えと有事における初動対応の充実を図るため、昨年4月の道路法改正により、道路啓開計画の策定が法定化され、円滑な救助活動等のためには、8の字をはじめとする緊急輸送道路はもちろん、地方道など防災拠点（避難所等）までのアクセス道路についても事前復興的に整備することが必要です。

このため、「第1次国土強靱化実施中期計画」を踏まえた関係予算については、急速な資材価格・人件費の高騰等の影響を適切に反映し、能登半島地震の教訓を踏まえて、さらなる加速化を図るために、これまでに以上に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で当初予算として確保するよう提言します。

加えて、本県の東西2か所の半島地域は、能登半島同様、そもそも幹線道路が少なく、平時から豪雨や越波による通行止めが発生しているうえ、当該地域は津波浸水想定区域であり、南海トラフ地震発生時には津波による道路寸断により孤立集落が多数発生することが想定されます。

本県の半島地域には、人口減少や大規模災害リスクの中、地方部における生活圏人口の維持といった観点からも、地域安全保障のエッセンシャルネットワークとしての道路が必要であるため、半島地域の脆弱な道路ネットワークを強化するため、構想路線の早期具体化に取り組むよう提言します。

【政策提言の具体的内容】

- ・「第1次国土強靱化実施中期計画」を踏まえた関係予算については、急速な資材価格・人件費の高騰等の影響を適切に反映し、能登半島地震の教訓を踏まえて、さらなる加速化を図るために、これまでに以上に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で当初予算として確保すること。
- ・半島地域における道路ネットワーク強化に向けて、新広域道路交通計画の更新を図ること。
(奈半利室戸道路、幡多西南地域道路)

【政策提言の理由】

- ・能登半島地震と同様の被災状況が想定される本県において、大きな被災や復旧の遅れは過疎地の人口流出・減少につながります。これらを未然に防ぐためには、発災時において確実に救助活動等に活用できる緊急輸送ルート of 整備等が喫緊の課題です。
- ・本県では、緊急輸送道路の中でも根幹をなす、8の字及び四国広域道路啓開計画の進出・代替ルート、第1次緊急輸送道路の改築、法面防災、橋梁耐震を特に優先して整備しています。国土強靱化関連予算が大幅に拡大した場合、能登半島と同様に直轄国道の無い地域に重点的に投資することで、完成期間が大幅に短縮されることとなり、効果絶大と考えます。
- ・南海トラフ地震発生 of 切迫度がより高まる本県において、津波浸水により市町村役場にアクセスする幹線道路 of 道路寸断が想定される半島地域に、災害に強い道路ネットワークが必要であると考えます。

【高知県担当課】土木部 道路課